

短歌  
小・中・高校生の部

入賞作品

広島県知事賞

幅跳びで砂場へとび出す快き踏みきり板の木のきしむ音

庄原市立高野中学校二年 種元功太郎

広島県議会議長賞

庭先で客を迎える大量のテッポウユリの礼儀正しき

県立賀茂高等学校二年 相信 理恵

広島県教育委員会賞

ぽっこりとはじけるように生まれたよいがママのくりはつるつる

庄原市立口北小学校四年 桑野 天空

けんみん文化祭ひろしま実行委員会会長賞

一度でも沖縄の声聞かせたい聞けばできない憲法改正

庄原市立西城中学校三年 上永 夏実

広島市長賞

電話さえ携帯できる時代でもいつまでたっても傘は傘

銀河学院高等学校二年 佃 真由美

広島市議会議長賞

時刻む時計の針が人々を置き去りにするもう戻れない

県立可部高等学校定時制三年 庄司 達哉

広島市教育委員会賞

サンショウの香りがつうんと鼻にきて春の香りにうつとりとする

庄原市立口北小学校五年 谷川 沙樹

財団法人ひろしま文化振興財団会長賞

カッターで櫂のおもたさ感じつつ命の重さわかりはじめる

広島市立瀬野川東中学校二年 赤名 祐樹

短歌  
一般の部

入賞作品

広島県知事賞

安楽死を待ちある如く用済みの案山子は畦に身を弛め伏す

広島市

新田 隆義

広島県議会議長賞

原子炉の亀裂のひそかにはしりゆき音なく降りつぐ卯の花腐し

広島市

三原 豪之

広島県教育委員会賞

また少し屈みたるかと夫の背を追いつつ刈りゆく夏草の波

世羅郡世羅町

高本 澄江

けんみん文化祭ひろしま実行委員会会長賞

新築の磨きたる床を秋風はシテのごとくに振舞いており

東広島市

今田あさ子

広島市長賞

義母の脊を拭きしタオルの乾きたり召天三日後春風の中

庄原市

橘 京子

広島市議会議長賞

頭士山の麓に埋るる廃屋に想いを馳せる甚六のあれ

広島市

鱒乗

広島市教育委員会賞

わが決意君の小言で砕けたり凍りきれない薄氷のごと

広島市

野坂 寿子

財団法人ひろしま文化振興財団会長賞

喋るほどのっぺらぼうになりそうで焙じ茶ひと口ゆつくりする

安芸郡海田町

上條 節子